

## 第3章

## 計画を推進するための基本姿勢



## 第3章 計画を推進するための基本姿勢

本計画の将来ビジョンの実現に向け、行政においてどのような視点や姿勢で計画を推進していくのか、以下の5つを基本姿勢として掲げます。

### 1 共創・協創によるまちづくりの推進

村においても、さらなる将来人口の減少や少子高齢化が予測されており、今後さまざまな課題が生じることが懸念される中、持続可能な成長を遂げていくためには、多様な主体が対等な立場で、共に力を合わせる必要があります。村民やボランティア・市民活動団体、企業・事業者、行政等がつながり、自らの智恵や能力を出し合い、共創・協創することで、しなやかで活力あるまちづくりを推進していきます。

また、その推進にあたっては、行政による支援体制の強化・充実のほか、職員の意識改革も求められます。村が実施するあらゆる施策において、共創・協創の視点による事業展開や、村民主体の活動をサポート・コーディネートできる人財の育成に努めていきます。

### 2 誰一人取り残さない政策展開

村民同士がそれぞれの多様性を尊重し、個々の持つ力を発揮しながら、輝き、安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指します。

SDGsの理念は、誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けて、「社会」、「経済」、「環境」の3つの側面から取組を進めるというものです。村でも、この理念に基づき、すべての住民が健やかに安心して暮らせるまちづくりのための政策を展開します。

村職員一人ひとりが、さまざまな場面で取り残される人がいる可能性があることを、常に意識しながら、持続可能なまちづくりにつながる取組を進めるとともに、各施策・事務事業との連携や、住民、企業、団体等の多様なステークホルダーとの連携した取組を推進します。



### 3 未来志向の政策展開（バックカスティング）

本計画は、「村のありたい姿・あるべき姿」（将来ビジョン）を構想し、村の現状課題も認識しながら、そのビジョンの達成に向かって行動する「バックカスティング方式」で策定を行いました。

村の10年後や、その先につながる将来を見据え、ポジティブで、革新的なアイデアを生み出し、人財育成やイノベーション<sup>※11</sup>などを創出するための新たな政策を展開します。

行政においても、未来のあるべき姿からバックカスティングによる政策展開を図るため、まず、「村のありたい姿」・「村のあるべき姿」を描き、その実現に向けて、「今行うべきことは何か」を分析し、実行します。

### 4 新しい「役場」への転換

時代の変化に対応した新たな挑戦ができる「役場」への転換として、従来の枠組みに捉われない行財政改革を推進し、組織マネジメントの強化、能率的な行政運営に向けて、自ら考え行動する職員の育成に努めるとともに、働き方改革を推進します。また、限りある財源を有効に配分することで、効率的・効果的な財政経営を推進し、健全財政を堅持します。

計画の進行管理や評価においては、設定する目標（成果指標）と実績（事業の効果・成果）を評価し、見直し・改善を繰り返すこと（PDCA）により、事業の効率性や有効性の向上を図ります。

### 5 最先端技術の活用（Society5.0時代への対応）

村においても少子高齢化や人口減少を背景としてIoT、AI（人工知能）、ロボットなどの最先端技術を活用し、社会的な課題解決や地域経済の発展に向けて、住民やステークホルダーとともに、東海村をスマートシティ<sup>※12</sup>へと創り上げていきます。

最先端技術の活用により、超高齢社会における健康寿命の延伸・社会コストの抑制、温室効果ガス排出削減、自動生産・運転技術等による持続可能な産業化の推進や人手不足の解消など、さまざまな社会的課題解決が期待できます。また行政運営においても、RPA<sup>※13</sup>等の技術を取り入れることで、定型業務を機械に代替することで、職員がより付加価値の高い業務に専念できることが期待できます。

これらは、単に効率性だけではなく、課題解決や新たな価値を創出し、地域経済の発展や住民の暮らしを豊かにすることで、新たな社会（Society5.0）を創造します。

※11 イノベーション／新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、人・組織・社会に変革をもたらすこと。

※12 スマートシティ／ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの先端技術や、人の流れや消費動向、土地や施設の利用状況といったビッグデータを活用し、エネルギーや交通、行政サービスなどのインフラ（社会基盤）を効率的に管理・運用する都市の概念。

※13 RPA／（Robotic Process Automation）ロボットによる業務の自動化。



